

中央中学校区 めざす子供像

夢(目標)を持ち 粘り強くたくましく 学びあい高めあう子供たち
「他者を認め、ちがいを受け入れ共感することができる(協働的な学びや活動の重視)」

学校教育目標

- よく考え 進んで発表する子 (知)
- やさしい心で 助け合う子 (情)
- 責任を持って 最後までがんばる子 (意)
- 命を大切にし 体を強くきたえる子 (体)



めざす 子供像

- 学びに向かう力を身につけ進んで学習する子ども
- 共生社会に向けて、相手を認めお互いに助け合い協力できる子ども
- どんな困難にも負けずに粘り強く、最後までやり通す子ども
- 自他の生命の尊さと健康の大切さを理解し、健康で安全な生活を送る子ども

めざす教職員像

- 子供と真摯に向き合い、常に向上心を持ち対話を重視し協働できる人間性豊かな教職員

めざす学校像

- 信頼、安心、活力があり、関わる人々が生き生きと活躍できる学校

望まれる保護者像

- 学校と共に、家庭教育の役割を果たす保護者

学校経営の 基本方針

すべての子どもの確かな成長を実感し発信できる学校
「めざす子供像」「めざす学校像」「めざす教職員像」の具現化を図る学校経営

具現化の視点

- 基礎・基本の確実な習得と対話を重視し、すべての子どもが活躍する「確かな学力」の向上
- 教師としての専門性を共に高め合い、対話と笑顔あふれるチーム中央小としての職員集団づくり
- 中学校区・幼保こを含めた教職員相互の信頼と協力による協働体制を基盤とした活力のある学校づくり
- 「豊かな心」「言語能力」を育む読書活動
- 豊かな人間性と社会性・多様性を育む道徳教育
- 共に認め合える 温かい人間関係の中での自制心と協調性を育む生徒指導
- 生命を尊び、たくましい心身を育てる健康・安全指導
- 一人一人のよさや可能性の伸長と教育的ニーズに応じた特別支援教育
- 子供や地域の実態に応じた小中一貫教育を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施
- SDGs を中核に据えた 6年間の教育実践
- 学びの場として清潔でゆとりと潤いのある教育環境の整備
- 安全に通学し安心して学校生活を送るための安全対策
- C S ・ P T Aをはじめ、地域総がかりによる子どもの資質・能力が育成できる学校づくり



今年度の 重点目標

共に学び共に高め合い 豊かな力を育み発信できる学校づくり
～ 子どもが生き生きと活躍できる教育を実践しよう～

取組の重点

主体的・対話的で 深い学びの実現

- ① 3つの対話(問い・仲間・教師)の充実をもとにした不断の授業改革
- ② 伝え合う力(対話力)の向上と協働的な学びの充実を目指した授業実践
- ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るICTの有効活用
- ④ 諸検査の結果分析に基づく授業カルテの作成と活用
- ⑤ 中学校区で連携した学習規律の定着と9年間を見通した授業展開
- ⑥ 教科担任制や交換授業、習熟度別少人数指導等による指導体制の工夫

豊かな心と 思いやりのある行動

- ① 自尊感情の醸成のため、認め合い・励まし合い・協力しあう人間関係の構築
- ② よりよい人間関係を築くための挨拶・言葉遣い・礼儀の日常化
- ③ 支持的風土の中での自分の役割と責任を果たす自主的・主体的な活動の工夫
- ④ 指導の重点を明確にした、考えて議論する道徳の推進
- ⑤ 言葉を知り、表現力を高め、豊かな心を育む読書意欲の向上取組の推進
- ⑥ 全職員による日常的な児童観察と情報共有によるいじめ・不登校等への組織的対応

心身の 健やかな成長

- ① 体力・運動能力の向上へつなげる体育授業や学級・児童会活動等の工夫
- ② 望ましい食習慣や健康への意識を高める健康教育の推進
- ③ 様々な危機を予測し回避する力を育む「自分の身は自分で守る」安全教育の推進
- ④ 家庭と連携した基本的生活習慣の定着
- ⑤ 意欲・集中、安心につながる清潔で落ち着いた学習環境づくり

研究主題

自ら学びに向かう子供の育成
～ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した授業づくりを通して～

4つのステージ
による実践

前期前半(4月～6月)	前期後半(7月～10月初旬)	後期前半(10月初旬～12月)	後期後半(1月～3月)
つくろう ステージ	ひろげよう ステージ	ふかめよう ステージ	つなげよう ステージ